

コロンビア経済情勢（2014年4月分）

2014年5月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

- IMF は 2014 年及び 2015 年の経済成長率を +4.5% と予測した。
- 25 日、中銀は政策金利を 0.25% 引き上げ、3.5% とした。
- 憲法裁判所は、太平洋同盟の枠組協定を承認した政令 2013 年第 1628 号に対して違憲の判断を下した。

II 主な出来事

<国内情勢>

（1）経済見通し：IMF（9日、当地紙報道）

IMF はコロンビアの 2014 年及び 2015 年の経済成長率を +4.5% と予測した。

（2）政策金利（26日、当地紙報道）

25 日、中銀は国内経済が好調と判断し、政策金利を 0.25% 引き上げ、3.5% とした。

（3）対外債務（4日、当地紙報道）

中銀は、2013 年末時点の対外債務が 918.79 億ドルとなり、前年同期比で 131.16 億ドル増加したと発表した。

（4）対内直接投資（12日、当地紙報道）

中銀は、2014 年第 1 四半期の対内直接投資（速報値）が 36.24 億ドルで、前年同期比 5.1% 減少したと発表した。

（5）インフラ

（ア）交通インフラ予算状況（7日、当地紙報道）

DNP(国家企画庁)長官は、直近 4 年間で交通インフラ予算額が 2 倍となり、2014 年は 39.21 億ドルとなった、また、予算消化率も 72% から 92% に増加したと発表した。

（イ）ボゴタ市地下鉄計画（1日、当地紙報道）

3 月 31 日、第 2 回ボゴタ市地下鉄計画セミナーにおいて、政府が本計画にかかる予算（3 億ドル）の 70%、ボゴタ市が 30% を負担することを約束した。建設着工は 2015 年後半であり、工期は 5 年を予定している。

（6）企業動向：DRUMMOND 社（1日、当地紙報道）

1 月 13 日から石炭の輸出を停止していた DRUMMOND 社は、環境許認可庁の要請を満たしたため、3 月 31 日に輸出を再開した。ドラモンド港の拡張整備事業は 8 月に完成予定であり、石炭輸出量は 3,000 万トン／年から 6,000 万トン／年に倍増する見込みである。

<対外経済関係>

(1) 対米 FTA 関連 (2 日及び 7 日, 当地紙報道)

商工観光相は、対米 FTA の発効から現在に至るまで、農業分野及び農業関係者に悪影響が及んでいない旨述べた。

労働省は、対米 FTA 発効後、正規労働者数が 2%増加した旨の統計を発表した。

(2) 対コスタリカ FTA 関連 (9 日, 当地紙報道)

第 1 回目の国会審議が行われ、上院第 2 委員会は対コスタリカ FTA を承認した。

(3) 太平洋同盟関係 (25 日, 当地紙報道)

憲法裁判所は、太平洋同盟の枠組協定を承認した政令 2013 年第 1628 号について、政府が国会に提出した書類に不備があったため、違憲の判断を下した。これを受けて、商工観光相は、政府は国会に新法案を提出する旨述べた。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

2 月の実質工業生産指数 (コーヒー豆加工を除く) は前年同月比 +2.8%であった。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

2 月の実質小売売上高指数は前年同月比 +6.7%であった。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

3 月の消費者信頼感指数 (ICC) は、17.5%と前月 (15.7%) を 1.8%ポイント改善した。一方、前年同月比では 2.7%ポイント改善した。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

3 月の石油生産量は日量 97.7 万バレルであり、前年同月比▲3.55%となった。100 万バレルを下回るのは 2013 年 10 月以来 5 ヶ月ぶりである。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連盟 (FNC) 発表)

FNC 加盟コーヒー生産者による 3 月のコーヒー生産量は 82.8 万袋 (1 袋=60kg) となり、前年同月比で +34.0%と大幅に増加した。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

4 月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均 1 ポンド=2.21 ドル (前月は同 2.11 ドル, 前年同月は同 1.58 ドル) であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

3 月の消費者物価上昇率は +2.51% (前年同月比, 以下同), 生産者物価上昇率は +1.71%であった。

(イ) 雇用

3 月の全国平均失業率は 9.7%と、前年同月の 10.2%より 0.5 ポイント改善した。また、主要 13 都市の平均失業率も 10.5%と、前年同月の 11.6%より 1.1 ポイント改善した。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

2月の貿易収支 (FOB) は、5.06億ドルの赤字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比▲8.5%の42.71億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比+11.3%の50.04億ドルとなった。

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%, 出所：DANE)	13/2	13/12	14/1	14/2
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	▲4.5	1.5	0.1	2.8
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	▲3.4	2.6	▲0.4	2.0
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	0.6	4.1	6.5	6.7
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	220.5	208.1	176.5	224.5
(2) 失業率 (単位：%, 出所：DANE)	13/3	14/1	14/2	14/3
(ア) 全国平均	10.2	11.1	10.7	9.7
(イ) 主要13都市平均	11.6	12.3	11.2	10.5
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%, 出所：DANE)	13/3	14/1	14/2	14/3
(ア) 前月比	0.21	0.49	0.63	0.39
(イ) 前年同月比	1.91	2.13	2.32	2.51
(4) 政策金利 (単位：%, 出所：中央銀行)	13/4	14/2	14/3	14/4
	3.25	3.25	3.25	3.50
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ, 出所：中央銀行)	13/4	14/2	14/3	14/4
(ア) 月初	1,814.28	2,021.10	2,046.75	1,969.45
(イ) 月末	1,832.20	2,054.90	1,965.32	1,935.14
(ウ) 最高値	1,832.20	2,054.90	2,052.51	1,969.45
(エ) 最安値	1,797.28	2,021.10	1,965.32	1,920.93
(6) 株式指数COLCAP ※2013年10月以前はIGBC指数 (単位：ポイント, 出所：COLCAP)	13/4	14/2	14/3	14/4
(ア) 月初	14,043.33	1,448.74	1,504.44	1,691.88
(イ) 月末	13,390.27	1,520.74	1,688.30	1,672.47
(ウ) 最高値	14,043.33	1,546.07	1,688.30	1,713.01
(エ) 最安値	13,231.67	1,448.74	1,504.11	1,634.54
(7) 貿易 (単位：百万ドル, 出所：DANE)	13/2	13/12	14/1	14/2
(ア) 輸出額 (FOB)	4,667.8	5,272.1	4,775.2	4,271.4
(イ) 同 年内累計	9,452.0	58,821.9	4,775.2	9,080.3
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,281.4	4,715.5	4,617.8	4,777.0
(エ) 同 年内累計	9,229.4	56,622.1	4,617.8	9,394.8
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル, 出所：中央銀行)	13/3	14/1	14/2	14/3
	318.4	318.8	299.2	306.3
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ, 出所：鉱山・エネルギー省) 注：ポゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	13/4	14/2	14/3	14/4
	8,752	8,566	8,586	8,569
(10) 自動車販売台数 (単位：台, 出所：ECONOMETRIA)	13/3	14/1	14/2	14/3
(ア) 単月	23,551	22,993	24,371	26,418
(イ) 年内累計	66,433	22,993	47,364	73,782

(了)